

通知簿の見方

1. 「通知簿」の意義

学期末ごとにお渡しします通知簿は、学習や生活の単なる結果の記録だけでなく、それをもとにして学校と家庭が協力して子どもをはげまし、伸ばしていくための記録でもあります。

したがって、ご家庭で通知簿をごらんになるときは、これまでのお子さまの努力や伸びを認め、今後のさらなる成長に対して、励ますことができるようにご活用いただければ、通知簿の本来の意義にかなうものと考えています。

2. 評価について

①「学習のようす」は、お子様の学習状況を学年の目標にてらして、各教科の観点ごとに「よくできた」「ふつう」「がんばろう」の3段階に評価しています。

★1年生は「できた」「がんばろう」の2段階です。

あらかじめ各段階ごとに一定の比率を決めておいて、機械的にわりふるという評価をしていません。

②「行動のようす」も、ほかの子どもとの比較でなく、お子さま一人ひとりの「どの部分が努力されているのか」「どの部分を努力すればいいのか」を表しています。

③「総合的な学習」の評価については、学習の時期に応じて、「担任のことば」の欄に、特に顕著なことがらを文章で記入しています。

3. その他

通知簿での学習や生活の評価は、お子様のすべてを評価したものではありません。家庭でのお子様の様子と合わせてご覧いただき、担任等と連絡を取り合って、今後の指導に生かしていけるようにしたいと考えています。